

薬剤疫学に関する既存の書物・教材名リスト

作成：日本薬剤疫学会「薬学教育と薬剤疫学タスクフォース」（2010年4月 作成）

0

分類	報告書		
書籍名	特集／わが国におけるPMS の今後のあり方（PMS 検討会による報告）		
著者名	日本薬剤疫学会 PMS 検討会（座長：大橋靖雄）		
出版社名	発行：日本薬剤疫学会 薬剤疫学. 2003; 8(1):1-34.		
発行年月	2003年9月	価格（税込）	学会誌
頁数/版型	34頁/B5版	ISBNコード	
解説	日本薬剤疫学会「PMS 検討会」まとめられた「わが国におけるPMS の今後のあり方」報告書。薬剤疫学はむずかしいという評判から「薬剤疫学」は避けて「PMS」となっていますが、薬剤疫学発展のための総論、提言、各論からなり、各論にはいろいろの用語や研究デザインが整理されています。		
入手	ダウンロードURL： http://www.jspe.jp/mt-static/FileUpload/files/PMS%E6%A4%9C%E8%A8%8E%E4%BC%9A%E5%A0%B1%E5%91%8A.pdf		



1

分類	教科書（薬剤疫学のみ）		
書籍名	実例で学ぶ薬剤疫学の第一歩		
著者名	監修：くすりの適正使用協議会 編集：藤田利治		
出版社名	発行：（有）レーダー出版センター 発売：丸善株式会社 出版事業部		
発行年月	2008年10月20日	価格（税込）	¥3,780円
頁数/版型	137頁/B5判	ISBNコード	978-4-9902064-5-1
解説	<p>「第1部 実例の紹介と解説」では報告された論文を教材として薬剤疫学の考え方取り組み方を示しています。具体的には以下の実例が取上げられています。</p> <p>実例1：小児への新薬の適用外使用の実態とその安全性と有効性についての研究 実例2：市販直後2年間の市販後調査に基づく抗悪性腫瘍薬による肺障害発現症例の検討 実例3：抗てんかん薬の催奇形性についての研究 実例4：脳・心血管障害発現予防効果の降圧薬の種類による違いについての検討 実例5：不整脈治療薬の服用と低血糖リスクとの関連 実例6：ニューキノロン剤と金属カチオン剤の併用実態 実例7：使用成績データベースを用いた非ステロイド性消炎鎮痛薬併用による降圧薬の治療効果減弱の検討 実例8：使用成績データベースを用いたアンジオテンシン変換酵素阻害薬の空咳の関連要因の検索 実例9：高脂血症治療薬による心血管疾患の新規発生予防効果の検討</p> <p>また、「第2部 方法としての疫学」では、疫学研究を行う上での基本的な留意点分かりやすく解説してあります。具体的な内容としては、頻度の測定、研究デザインの概要、バイアス、交絡、偶然変動、臨床試験、コホート研究、ケース・コントロール研究、薬剤についての市販後の観察研究の必要性。</p>		



1-1

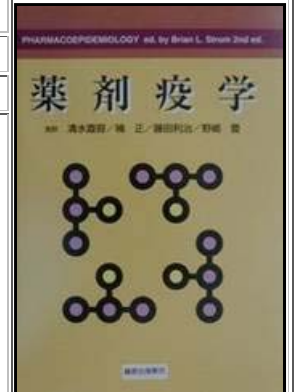
分類	教科書（薬剤疫学のみ）		
書籍名	薬剤疫学の基礎と実践		
著者名	景山 茂・久保田潔 編		
出版社名	医薬ジャーナル社		
発行年月	近刊予定	価格（税込）	本体価格未定
頁数/版型	272頁/B5判	ISBNコード	
解説	<p>I. 薬物の効果と安全性の評価に果たす薬剤疫学の役割 II. 薬剤疫学研究により明らかにされた薬効と安全性 III. 薬害 IV. 研究デザイン V. 薬剤疫学研究の計画 VI. 販売承認前の臨床試験（治験）と市販後の調査・試験 VII. 制度</p>		



VIII. 関連領域

2

分類	教科書（薬剤疫学のみ）		
書籍名	薬剤疫学 第2版		
著者名	ブライアン・L. ストロム（清水直容・楠 正・野嶋 豊・藤田利治 監訳）		
出版社名	篠原出版		
発行年月	1995年12月	価格（税込）	¥16,800 円
頁数/版型	700頁/B5判	ISBNコード	978-4-88412-149-5 (4-88412-149-X) C-CODE 3047
解説	<p>本書の目的は、薬剤別や症候別に編集された薬の有害反応の既存の教科書ではなく、薬の有害反応や他の効果について疑問解明の研究手段を明らかにすることである。また本書は疾患別あるいは薬品別に構成した臨床薬理学の教科書でも疫学の教科書でもなく、その両分野の共通部分を記載するものである。ユニークなテキストである。</p> <p>【目次】第1部 はじめに（薬剤疫学とは何か／薬剤疫学研究に利用可能な研究デザイン ほか） 第2部 薬剤疫学に関する展望（学术界からみた公衆衛生的展望／企業からの観点 ほか） 第3部 薬剤疫学に用いるシステム（アメリカ合衆国における自発的副作用報告システム／アメリカ合衆国以外の国における自発的報告／各種のデータベースほか） 第4部 薬剤疫学におけるいくつかの特殊な応用例と方法論的問題点（市販前研究への薬剤疫学の応用／症例報告を用いる原因の決定法 ほか） 第5部 おわりに（薬剤疫学の将来）</p>		



3

分類	教科書（薬剤疫学のみ）		
書籍名	薬剤疫学の基礎 副作用情報から薬剤疫学へ		
著者名	鈴木伸二 著		
出版社名	薬事日報社		
発行年月	1995年5月	価格（税込）	¥1,835円
頁数/版型	137頁/菊判	ISBNコード	4-8408-0367-6
解説	「副作用」の面から薬剤疫学の概念を解説してある。初めての入門書、専門的知識のない人でも薬剤疫学を容易に理解できる。		



4

分類	教科書（薬剤疫学のみ）読みもの		
書籍名	小冊子 薬剤疫学ってなあに？		
著者名	くすりの適正使用協議会 編		
出版社名	(有)レーダー出版センター		
発行年月	2004年1月	価格（税込）	¥2,300円
頁数/版型	135頁/A5版	ISBNコード	978-4-86034-264-7 (4-86034-264-X)
解説	<p>本書は、PMS データの活用としての「薬剤疫学」について、具体的な事例を取り上げ、論文などで登場するコホート研究、ケース・コントロール研究という研究デザインや相対リスク、オッズ比などの難しい用語について、研究デザインを紹介した上で具体的な事例について解説してある。また、専門用語もできるだけ日常的な言葉に置き換えて、わかりやすく、やさしく解説してある。</p>		



5

分類	教科書（総合）		
書籍名	医薬品情報学 第3版		
著者名	山崎 幹夫 監修, 望月 眞弓 編集代表, 武立 啓子 編集代表		
出版社名	東京大学出版会		
発行年月	2005年09月	価格（税込）	¥4,410円
頁数/版型	288頁/B5判	ISBNコード	978-4-13-062407-7
解説	<p>医薬品情報をめぐる状況の大きな変化に対応し、最新の情報を盛り込んだ医薬品情報学の基礎から応用までを体系だてて解説した教科書である。学習のポイントやキーワードを提示し、演習問題を付すなど、教科書としてより使いやすくわかりやすい工夫もこらされている。薬学部学生はもちろんのこと、医療現場の薬剤師、企業・行政職などが広く活用できる基本の1冊。医薬品情</p>		



報の収集・解析・評価の観点から薬剤疫学について解説してある。
 薬剤疫学関連項目
 11 EBMの実践と医薬品情報（木津純子）
 12 薬剤疫学の実践（政田幹夫・後藤伸之）
 13 薬剤経済学の実践（坂巻弘之）

6

分類	教科書（薬剤疫学のみ）読みもの		
書籍名	臨床薬理学（第2版）		
著者名	日本臨床薬理学会 編（編集委員：中野重行／安原一／中野眞汎）		
出版社名	医学書院		
発行年月	2003年04月	価格（税込）	¥9,765円
頁数/版型	600頁/B5判	ISBNコード	978-4-260-10539-2
解説	<p>日本臨床薬理学会認定試験のために日本臨床薬理学会の認定医制度委員会が編集委員となって刊行されたわが国最初の本格的な臨床薬理学のテキストである。</p> <p>本書は4つの章よりなっており、（1）臨床薬理学の概念と定義、では医薬品開発と臨床試験、作用・有害作用のメカニズム、薬物動態学、作用・動態の個体差、薬物間相互作用などを中心に、（2）薬物治療学総論ではTDM、薬物投与計画の作成のための薬物動態学理論、また各種の病態生理学的な変動時における薬物投与計画、遺伝子情報を利用した薬物投与計画について、（3）薬物治療学各論では、疾患別に治療薬を15に分類し、各論が詳細に解説されるとともに、時間薬理学、添付文書の活用についても記述がなされ、（4）その他の重要な事項では、新薬開発、開発業務受託機関（CRO）、治験施設支援機関（SMO）、治験コーディネーター（CRC）、医薬品の乱用と誤用、医事紛争、薬事行政、健康保険、薬剤疫学、などの項目の解説されている。</p>		



7

分類	教科書（総合）		
書籍名	薬と疾病 III. 薬物治療(2) および薬物治療に役立つ情報（スタンダード薬学シリーズ6）		
著者名	日本薬学会 編		
出版社名	東京化学同人		
発行年月	2003年04月	価格（税込）	¥4,830円
頁数/版型	336頁/B5判, 2色刷	ISBNコード	4-8079-1463-4
解説	<p>6年制薬学教育コアカリキュラムに対応し、SBO（到達目標）ごとに説明が加えられ、これを学習していくことでそれぞれのGIO（一般目標）が達成できるように考えられた薬学部教科書。</p> <p>薬剤疫学関連項目 B. 薬物治療に役立つ情報 第I部 医薬品情報 第1章 情報 第2章 情報源 第3章 収集・評価・加工・提供・管理 第4章 データベース 第5章 EBM（根拠に基づく医療） 第6章 総合演習</p>		



8

分類	教科書（総合）		
書籍名	医薬品の開発と生産（スタンダード薬学シリーズ8）		
著者名	日本薬学会 編		
出版社名	東京化学同人		
発行年月	2003年04月	価格（税込）	¥3,570円
頁数/版型	232頁/B5判, 2色刷	ISBNコード	4-8079-1465-0
解説	<p>6年制薬学教育コアカリキュラムに対応し、SBO（到達目標）ごとに説明が加えられ、これを学習していくことでそれぞれのGIO（一般目標）が達成できるように考えられた薬学部教科書。</p> <p>薬剤疫学関連項目 第V部 バイオスタティスティクス 第20章 生物統計の基礎 第21章 臨床への応用</p>		



9

分類	教科書（総合）		
書籍名	薬学と社会（第2版）（スタンダード薬学シリーズ9）		
著者名	日本薬学会 編		
出版社名	東京化学同人		
発行年月	2008年03月	価格（税込）	¥3,570円
頁数/版型	243頁/B5判, 2色刷	ISBNコード	4-8079-1473-1
解説	<p>6年制薬学教育コアカリキュラムに対応し、SBO（到達目標）ごとに説明が加えられ、これを学習していくことでそれぞれのGI0（一般目標）が達成できるように考えられた薬学部教科書。</p> <p>薬剤疫学関連項目 第11部 社会保障制度と薬剤経済 第5章 社会保障制度 第6章 医療保険 第7章 薬剤経済</p>		



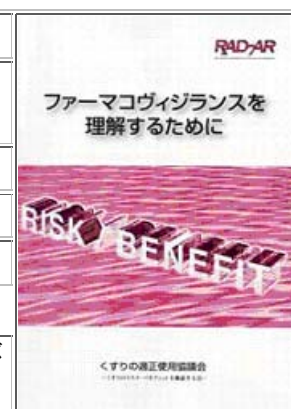
10

分類	教科書（総合）		
書籍名	薬剤疫学への招き 医薬品の開発と適正使用をめざして		
著者名	編著：高田充隆 共著：飯原なおみ、小竹武		
出版社名	京都廣川書店		
発行年月	2009年03月	価格（税込）	¥5,040円
頁数/版型	312頁/B5版	ISBNコード	978-4-901789-31-8
解説	<p>目次 第1章 薬剤疫学 薬剤疫学の概念、薬害、薬剤疫学と医薬品情報、薬剤疫学研究デザイン 評価の指標、バイアスと交絡、薬剤疫学とデータベース、 薬剤疫学研究と臨床的課題、薬剤疫学と薬物血中濃度、処方の評価と改善 第2章 EBM EBMの基本概念と実践のプロセス、論文の批判的吟味 第3章 薬剤疫学を理解するための生物統計学 データの考え方と取り扱い方、統計手法、2群間の平均値の差の検定方法 多群間の平均値の差の検定法、2変数の検定、相関と回帰、回帰分析の応用 生存分析</p>		



11

分類	読みもの		
書籍名	小冊子 ファーマコヴィジランスを理解するために （薬剤疫学小冊子シリーズ 7冊目）		
著者名	日本RAD-AR協議会/編		
出版社名	日本RAD-AR協議会		
発行年月	2005年7月	価格（税込）	非売品
頁数/版型	24頁/B5版	ISBNコード	
解説	ファーマコヴィジランスの基本概念、さらにICH E2E「医薬品安全性監視の計画」およびFDAの「リスクマネジメントプランのためのガイダンス」を紹介している。		
入手	ダウンロードURL： http://www.rad-ar.or.jp/01/07_publication/pe-rikai/pe-rikai.pdf		



12

分類	読みもの		
書籍名	小冊子 薬剤師による薬剤疫学の実践 (薬剤疫学小冊子シリーズ 6冊目)		
著者名	日本RAD-AR協議会/編		
出版社名	日本RAD-AR協議会		
発行年月	2004年7月	価格(税込)	非売品
頁数/版型	21頁/B5版	ISBNコード	
解説	病院薬剤師による薬剤疫学の実践について実例をあげながら薬剤疫学についてわかりやすく解説してある。欧米における膨大なデータベースを用いた薬剤疫学研究は論外であるが、小さな医療施設であっても患者さんの薬歴、処方箋解析から薬剤の使用実態調査が可能であり、これが薬剤の適正使用へとつながる。これも立派な薬剤疫学研究である。このように薬剤疫学研究の第一歩を踏み出していただくために、作成された1冊である。		
入手	ダウンロードURL: http://www.rad-ar.or.jp/01/07_publication/pe-jissenn/pe-jissen.pdf		



13

分類	読みもの		
書籍名	小冊子 社会と薬学の狭間で (薬剤疫学小冊子シリーズ 5冊目)		
著者名	日本RAD-AR協議会/編		
出版社名	日本RAD-AR協議会		
発行年月	2003年7月	価格(税込)	非売品
頁数/版型	28頁/B5版	ISBNコード	
解説	内容は、日本における疫学の父である高木兼寛と脚気、大規模臨床試験の夜明けにつながったポリオワクチン例、裁判は科学の妥当性と正確性をどのように評価するべきか、リスク・ベネフィットを正しく伝えるためのリスクコミュニケーション、医療過誤モニタリングなど、社会の中での薬剤疫学を理解するのに役立つ1冊である。		
入手	ダウンロードURL: http://www.rad-ar.or.jp/01/07_publication/07_image/hazama.pdf		



14

分類	読みもの		
書籍名	小冊子 MRのための実践薬剤疫学 (薬剤疫学小冊子シリーズ 4冊目)		
著者名	日本RAD-AR協議会/編		
出版社名	日本RAD-AR協議会		
発行年月	2002年6月	価格(税込)	非売品
頁数/版型	20頁/B5版	ISBNコード	
解説	本書は、「MRのための実践薬剤疫学」という題のもと、国内で公刊されたコホート研究、ケースコントロール研究の事例を解説し、それに加えて医療機関における実際の薬剤疫学の実例について、病院薬剤師が寄稿したものである。		
入手	ダウンロードURL: http://www.rad-ar.or.jp/01/07_publication/07_image/mrjissen.pdf		




15

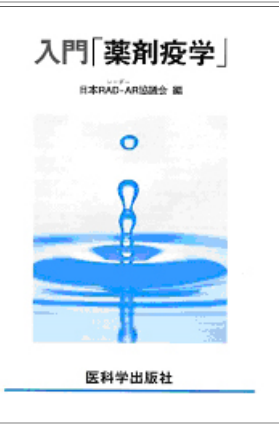
分類	読みもの		
書籍名	小冊子 MRのための市販後調査(PMS)と薬剤疫学 (薬剤疫学小冊子シリーズ 3冊目)		
著者名	日本RAD-AR協議会/編		
出版社名	日本RAD-AR協議会		
発行年月	2001年3月	価格(税込)	非売品
頁数/版型	20頁/B5版	ISBNコード	
解説	MRの方々も日常業務において医師、薬剤師の先生方と面談するに当たって薬剤疫学の知識は不可欠のものであるという観点から「MRのための市販後調査(PMS)と薬剤疫学」と銘打ちPMS関連の用語の解説からコホート研究、ケースコントロール研究およびオッズ比についても解説した。薬剤疫学は決して難しい学問ではない。企業が実施する市販後調査における有効性、安全性の検証も薬剤疫学の範疇に入るものである。		
入手	ダウンロードURL: http://www.rad-ar.or.jp/01/07_publication/07_image/mrchosaekigaku.pdf		




16

分類	読みもの			
書籍名	小冊子 実践「薬剤疫学」 (薬剤疫学小冊子シリーズ 2冊目)			
著者名	日本RAD-AR協議会/編			
出版社名	日本RAD-AR協議会			
発行年月	2000年5月	価格(税込)	非売品	
頁数/版型	16頁/B5版	ISBNコード		
解説	<p>薬剤疫学的手法が実際の市販後調査の中に具体的に取り入れられ、実施されるところまでは至っていない。薬剤疫学は実践的な学問領域であり、このような研究がわが国においても欧米なみに、医薬品の安全性確保あるいは適正使用のために実施されるようになることが必要である。研究のわれわれにも関心の深いCa拮抗薬やホルモン補充療法(HRT)等の比較的身近な海外研究事例をピックアップして、薬剤疫学的手法に関する実践的研究の事例を解説してある。</p>			
入手	ダウンロードURL: http://www.rad-ar.or.jp/01/07_publication/07_image/jissen.pdf			


17

分類	読みもの			
書籍名	小冊子 入門「薬剤疫学」(小冊子) (薬剤疫学小冊子シリーズ 1冊目)			
著者名	日本RAD-AR協議会/編			
出版社名	日本RAD-AR協議会			
発行年月	1999年4月	価格(税込)	非売品	
頁数/版型	19頁/B5版	ISBNコード		
解説	『入門「薬剤疫学」』では、意義、基本的事項をわかりやすく解説してある。			
入手	ダウンロードURL: http://www.rad-ar.or.jp/01/07_publication/07_image/nyumon.pdf			

18

分類	読みもの			
書籍名	「くすりの情報」の鍵 薬剤疫学的立場から			
著者名	有馬康雄 著			
出版社名	薬事日報社			
発行年月	2005年09月	価格(税込)	¥2,100	
頁数/版型	288頁/B5判	ISBNコード	4-8408-0854-6	
解説	<p>薬剤疫学の観点から、日本で実施された注目に値すると思われる研究や調査を事例として取り上げ、その実態や調査方法を振り返りながら、「医薬品情報の性格」を紹介している。</p>			

19

分類	雑誌特集			
書籍名	薬局54(9), 2411-2519, (2003). 医薬品情報と薬剤疫学			
著者名				
出版社名	南山堂			
発行年月	2003年9月	価格(税込)	¥2,300円	
頁数/版型		ISBNコード		
解説	<p>巻頭言(海老原 格) 医薬品情報は市販前と市販後でどう異なるか(真山武志) ■市販後の医薬品情報に何を期待するか 患者サイドから(奥田美智) 医療提供者サイドから(後藤伸之ほか) 医薬品の適正使用のための医薬品情報—行政としての薬剤疫学—(関野秀人) 医薬品の適正使用の普及・確立—製薬企業の役割—(山田明甫)</p>			

医薬品情報と医薬品卸の関わり方についての考察(成嶋健次)
 医薬品副作用問題を振り返る(政田幹夫ほか)
 ■ 医薬品情報と薬剤疫学の関係を考える
 疫学とは何かー脚気問題からー(浦島充佳)
 薬剤疫学とはなにかースモン問題からー(鈴木伸二)
 薬剤疫学を支える要素(鈴木伸二)
 ■ 薬剤疫学の調査デザインと応用事例を探る
 コホート研究(神田誠一)
 ケース・コントロール研究(古閑 晃)
 データベース構築と新しい情報の創出(有馬康雄)
 薬剤師は薬剤疫学とどう関わるべきか(三溝和男)

20

分類	雑誌特集		
書籍名	医薬ジャーナル, 40(9), 2461-2506, (2004).		
著者名			
出版社名	医薬ジャーナル社		
発行年月	2004年9月	価格(税込)	¥2,300円
頁数/版型		ISBNコード	
解説	<p>■ 特集：薬剤疫学の今後の展望～医薬品適正使用を根付かせるために～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤疫学とは 楠 正 2. 薬学教育と薬剤疫学 北澤式文 3. 医薬品適正使用と薬剤疫学 池田俊也・小林美亜 4. 医療情報学と薬剤疫学 熊本一朗 5. 医師と薬剤疫学 別府宏圀 6. 薬剤師と薬剤疫学：～病院情報システムに蓄積された薬剤データの薬剤疫学的手法を利用した医薬品適正使用研究～ 後藤伸之・政田幹夫・折井孝男 7. 行政における薬剤疫学 岡本悦司 8. 企業における薬剤疫学 高橋千代美 9. 薬剤疫学発展のために～診療ガイドラインの向上を通して～ 中山健夫 		



21

分類	雑誌特集		
書籍名	月刊 薬事 51(4), 491-493, (2009).		
著者名	橋口 正行, 望月 眞弓		
出版社名	医薬ジャーナル社		
発行年月	2009年4月	価格(税込)	¥2100円
頁数/版型		ISBNコード	
解説	<p>■ 特集：いまさら聞けない医療と薬のなにとなぜ 薬剤疫学とはどのような学問ですか？</p>		

